

14日日に市民総合体育館で開催される市民スポーツデーなど、社会教育の一環として市内で催されるスポーツイベントの運営やニュースポーツの普及などに取り組んでいるのが、狛江市スポーツ推進委員会。会長の田村隆一さん(64)に話を聞いた。

「中学生から続けている卓球が縁で10数年前に狛江市体育指導員になり、平成23年にスポーツ基本法の成立で現在の名称に変わりました。私は、体育指導員時代の18年に会長になり、こゝとして通算12年目です」
「委員の仕事は地域でスポーツの推進をはかることです。現在、委員は12人で、そのうち8人が女性です。毎月定例会を開いて、事業の企画・運営、スケジュール調整などを行います。会長は、意見を出しやすい雰囲気づくりや会の進行がスムーズにいくようにするのが役目です」
「事業として卓球・バドミントン教室、フットサル・綱引き、キンボールの出前教室などを行うほか、5月のチャレンジデーでポッチャなどのコーナー運営、10月に市民スポーツデーを催しています。また、狛

狛江のスポーツはさらに盛り上がり期待しています

江市総合型スポーツ・文化クラブ(以下、クラブ)と連携してノルディックウォーキングなども開いており、年間10数回のイベントを開催して市民の体力向上につながる活動をしています。委員は事業ごとに担当を決め、その競技を指導できるようにしており、委員同士が連携して研修に励んでいます」



狛江市スポーツ推進委員会 会長 田村隆一さん

「日本代表の活躍で、最近では卓球やバドミントンの人気が高まり、教室や大会の参加者が増えています。委員会では、生涯スポーツの振興のほか、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向

けた取り組みを行っています。パラリンピック種目のポッチャは、ゲーム性が高く、障がいの有無に関係なく幅広い年代が楽しめるので、指導者の育成や普及に力を入れています。また、2019年ラグビーワールドカップに向けてラグビー協会も発足するなど、狛江のスポーツはさらに盛り上がるのではと期待しています。14日午前9時30分から午後1時に開く市民スポーツデーは体力テスト、ニュースポーツ体験コーナーなどがあり、手軽に健康チェックができるので、たくさんの参加を待っています」

田村隆一さんの横顔=渋谷区で生まれ、小学3年生の時に東大和市へ転居、高校卒業後に東京都水道局へ入局。60歳で退職、現在は会社員。昭和54年に狛江在住の妻と結婚して狛江へ転居。中学生の頃から卓球を始め、狛江市卓球連盟に所属。平成23年に発足した狛江クラブの創設に準備段階からかわる。趣味は卓球のほか、最近始めたゴルフ、家族旅行。

お補めくり

◆60◆

さまざまな庭木を栽培、庭の維持管理行う

狛江三叉路近くにある絹山園(東和泉1-6-14)は、庭木の栽培を手がけ、樹木のせん定と育成を得意とする造園業者。

創業者の絹山三平さん(大正2年~平成8年)は中和泉の農家の出身で、生家から農地を譲り受けて独立、現在の場所で農業を始めた。農閑期には近くにある栗山造園の先代・栗山金作さん(故人)の下で造園の仕事を手伝ったのがきっかけで、造園のおもしろさと奥深さに魅せられ、農地の一部で徐々に庭木の苗を育てるようになった。その後、狛江や調布の造園業者で昭和24年に結成した組合が調布市の寺の境内で毎月開いた植木市に苗木を出荷するようになった。三平さんはツゲの散らし玉作りの技術やせん定が仕事仲間や客に好評で、よく売れたという。挿し木による栽培も得意で、東伊豆町の防風林に使っていたマキを譲り受け、仕



庭造りをする絹山功さん(前列中央)と三平さん(前列右)(昭和40年頃)

絹山園

立て直しや養生を行い風に強い丈夫な木を多く育てた。三平さんの長男の功さん(77)は子どもの頃から家業を手伝っていたが、学業を終えると先代と同じく栗山造園に農閑期に勤め、造園の仕事を買った。30年代後期には家に戻り農業と造園、苗木の育成・販売をしていた。功さんによると、庭木にも流行があり、34年の皇太子(現天皇)ご成婚の時、東宮御所に植えられた白樺がブームとなり1年間で200本以上も売れた。39年の東京オリンピック後は首都圏で戸建て住宅の建設ラッシュで、世田谷通り沿いに植木畑があったため、狛江以外の人からも庭木の購入や定植の依頼、庭造りの注文が次々と舞い込んだ。そうしたこともあって、40年頃に「絹山園」の看板を掲げたという。当時は遠方に木を届けたり、造園の仕事をすることも多く、職人を雇ったこともあるという。しばらくは米や野菜も作っていたが、農業用水の減少や47年の狛江町(当時)の青物市場の閉鎖などで、農地をすべて植木畑に転換した。絹山園=☎3489-6343 営業時間=午前8時~午後6時頃 日曜休み

でも緑化樹を中心に木を育てている。現在は、庭作りや管理は功さんの長男の孝幸さん(51)が主に担当している。孝幸さんは、子どもの頃から家業を継ぐつもりで、造園全般や環境について基礎から学ぼうと都立園芸高校を経て東京農業大学短期大学に進んだ。卒業後1年間は、米国のカリフォルニア州サリナスの花作りの農家で働いた。孝幸さんによると、祖父の代に手がけた庭木の手入れや管理や寺の境内の樹木管理が業務の中心だという。また、新規の庭仕事も、造園仲間と組んで受けることが多い。孝幸さんは「昔は木に愛着を持つ人が多く、大切に育てられており、先代が手がけた木の手入れは励みになります。現在は住宅の庭の広さが限られるため、中低木で花や実がなる木が好まれますが、そうした時代のニーズにあわせるよう心がけています」と話している。

絹山園=☎3489-6343 営業時間=午前8時~午後6時頃 日曜休み



絹山功さん(左)と孝幸さん

Start & Challenge エネルギーシフトをテーマに29日に講演会

エネルギーシフトを実現するこまの会(高木聡子代表)が29日午前10時~正午に西河原公民館で講演会を催す。当日は全国小水力利用推進協議会事務局長の中島大さんが「多摩川で発電できるかな? -エネルギーシフトは身近な地域で」と題して講演する。入場は無料。



西河原自然公園で行った小水力発電の実験

同会は市内で取り組める再生可能エネルギーを発掘し、そのエネルギーを使うエコ社会を実現することを目的に平成25年に発足した。水力、風力、地熱などの可能性を検討した結果、多摩川や市内の公園にあるせせらぎを使った小水力による発電の可能性にたどり着き、27年に行政提案型市民協働事業の認可を受けた。同年には、市役所敷地内の地下水、西野川せせらぎ、西河原自然公園せせらぎ、多摩川の二ヶ領宿河原堰の4候補地を調査し、西河原自然公園せせらぎで小水力発電の実験を行ったほか、夏休み親子工作教室、再生可能エネルギー見学ツアーなどを実施した。

ことしは平成29年度狛江市市民公益活動事業補助金を受けて、講演会を開催するほか、多摩川を活用した再生可能エネルギーについて、多摩川沿いの住民を中心とした3,000世帯を対象にアンケート調査を実施し実現の可能性を探る予定だ。問い合わせ☎3489-8779佐々木さん。

一中が創立70周年 7日に祝賀コンサート

狛江第一中学校が創立70周年を迎えたのを記念して7日(日)に祝賀コンサート(狛江第一中学校創立70周年実行委員会主催)を同中で催す。

当日は、午前の部(10時50分~11時50分)でシンガーソングライターの大野靖之さんが「ともに夢を 友に歌を」と題してピアノやギターで弾き語りを行う。大野さんは平成25年から毎年同校でライブを行っており、27年にはいじめが起きない願いを込めて生徒会が作った歌詞に、大野さんが作曲した「ともに」を共作した。午後の部(2時15分~4時30分)は同中1組の和太鼓と吹奏楽部に加え、東京2020オリンピック・パラリンピック「世界とまどちプロジェクト」として韓国の伝統太鼓チャンク奏者趙基哲さん、ハンガリーのクラリネット奏者コハーンイシュトヴァーンさんが演奏する。

主催者は「一中は狛江で最も古く、卒業生も多い。地域の人

と一緒に祝いたい」と一般公開することにし、参加を呼びかけている。入場は無料で、問い合わせ☎3480-0121狛江第一中学校。

はたらく消防の写生会 優秀作品60点を表彰

「はたらく消防の写生会」の表彰式が9月18日(月)に狛江消防署で行われた。

写生会には市内の小学校6校と中学校1校から絵画やポスター748点の応募があり、審査の結果、優秀賞20点、入賞40点を選ばれた。

式には受賞した子と家族など約200人が参列、茂木茂署長から表彰状が一人ずつ手渡された(写真)。式の後、はしご車の試乗、初期消火などが行われ、子どもたちは防火の大切さを体験していた。



21日に宝探しゲーム 狛江青年会議所が開催

狛江青年会議所が21日(日)に「宝探しゲーム」を開催する。

子どもたちの郷土愛を育むために企画したもので、午前9時30分に西河原公民館に集合、狛江に関するクイズを手がかりに元和泉と中和泉3丁目南部に設置した7つの宝箱を探すゲームで、参加賞、ゴール賞に加えくじ引きもある。対象は小学生(低学年は保護者同伴)で定員は先着100人、10日までにEメール(komaejc@gmail.com)で申し込む。問い合わせ☎080-5444-8440絹山。

施設参観と授業体験会 愛光女子学園が募集

法務省の矯正・教育施設・愛光女子学園(西野川3-14-26)

まちま

が11月8日(日)午後1時30分~4時に催す施設参観と授業体験会の参加者を募集している。

同学園の施設見学や体験授業を通して少年院の生活への理解を深めてもらうのが目的で、対象は中学生以上で定員は約30人(先着順)。申し込みは☎3480-2178(月~金曜午前9時~午後4時) 同学園庶務課庶務係。

多摩川に光の地上絵 3日にキャンドルナイト

「多摩川キャンドルナイト」(灯と人実行委員会主催)が11月3日(金)(雨天中止)午後4時45分から小田急線鉄橋上流の多摩川河川敷で催される。

キャンドル1,000~1,500個を使って光の地上絵を描くほか、ライブ演奏などを行う。

岩戸八幡神社 岩戸南2-8-2

宵宮祭=7日(日)午後6時から素人演芸(氏子有志のカラオケ、舞踊ほか)。例大祭=8日(日)午前10時から式典、午前11時からおとな・子どもみこし、大太鼓、はやし連、山車の巡行。午後6時30分から芸能奉納(バルーンパフォーマンス、ジャグリングパフォーマンス、マジック、歌謡曲)、夜店。☎090-4849-6859小川

白幡菅原神社 猪方2-4-4

宵宮祭=7日(日)午後4時からはやし、獅子舞の奉納、奉賛会青年部、二中おやじの会有志による模擬店。例大祭=8日(日)正午頃から式

典、終了後に太鼓、はやし、山車、みこしの巡行。午後6時宮入、6時30分から演芸大会。夜店。☎3489-9147小川

日枝神社 駒井町1-6-11

宵宮=7日(日)夕方から大太鼓巡行、おはやし奉納、夜店。例大祭=8日(日)正午から式典、午後12時30分からおとな・子どものみこし、大太鼓、はやし連、山車の巡行、夜店。☎3480-8592 大津

小足立八幡神社 西野川2-33-1

宵宮=14日(日)午後1時から太鼓、はやし巡行。例大祭=15日(日)正午からみこし、太鼓、はやし連、山車の巡行。☎3489-8912栗山